
もう一度

伊佐未勇

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
もう一度

【Nコード】
N6403P

【作者名】
伊佐未勇

【あらすじ】
この物語は、暑い夏を駆け抜けた少年たちの
熱く、夢い物語。

ブローグ

「野球やらない？」

この一言から、僕の物語が動き出した・・・

あれは、12月の寒い冬空の出来事だった。

現代

神谷高校の野球部キャプテン「吉村 利樹」が考えていた。

「うちの野球部に足りないものねえ」

なぜそんなことを考えていたのかというと、去年の夏

の地区予選

なのだが

まだ優勝したことはないのだ、いつもあと一歩という

ところで

負けてしまうのだ。

「キャプテンそろそろ・・・」

他の部員が声をかけてきた

「ああ、そろそろあがりになろう」

「おつかれさまでした」

運命的な

吉村は、練習を終え帰宅していた、その帰り道で彼は
出合いをすることになる・・・

9人の戦士

これは、夕方の川原での話・・・

「なんだこれ・・・？」

俺、吉村は驚きを隠せずにいる。

何故なら、俺の目の前で中学生くらいの少年たちが野球をしていたのだ。

いや、普通に野球をしているんじゃない・・・

これは、まさに

「プロか・・・」

少年たちを見ていると、マネージャーらしき少女に声をかけられていた。

「どうしたんですか？」

「いや、練習がすごいなって」

これは、うそ偽りのない心からの声だった・・・

そういうと、彼女は・・・

驚くべきことを口にした

「当然ですよ。全国ナンバー1のチームなんですか

ら

はい？今なんて言いました？
全国ナンバー1？

「チームの紹介をしますね」

俺が驚いていると、彼女はそういった

「まずは、投手の渋谷くんです。」

投手か・・・

うちにもっとも必要な人材だけど・・・
実力はどんなもんかな？

振りかぶった。

綺麗なフォームだが、
トルネード投法か！！

「ばしんつつつつ」

なっ

「彼は、うちのエースですから。」

これは、ほんとに中学生か・・・？

「彼のデータは？」

「えっと・・・」

彼女は、かばんの中を探り出した。
手にはノートが

「これです。」

「何じゃこら・・・」

データ

名前・・・渋谷 乖離

(しぶや かいり)

年齢・・・15

学年・・・3年

ポジション・・・投手

持ち球

カーブ・・・高校生レベル

スラップ・・・高校生レベル

フォーク・・・メジャー級

SFF・・・およそ145?で落ちる

シュート・・・プロ級

スライダー・・・メジャー級

ジャイロボール

最高球速・・・150?

スタミナ・・・18回までは余裕

コントロール・・・神

打順・・・3番

タイプ・・・ホームランバッター?

本人は、ホームランは目で打つとか言っている

力は、チームで一番ないかも・・・

打率・・・9割超え

50m・・・5秒8

遠投・・・240m

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6403p/>

もう一度

2010年12月30日23時29分発行